

『関西のプロジェクト動向調査』2009年報告

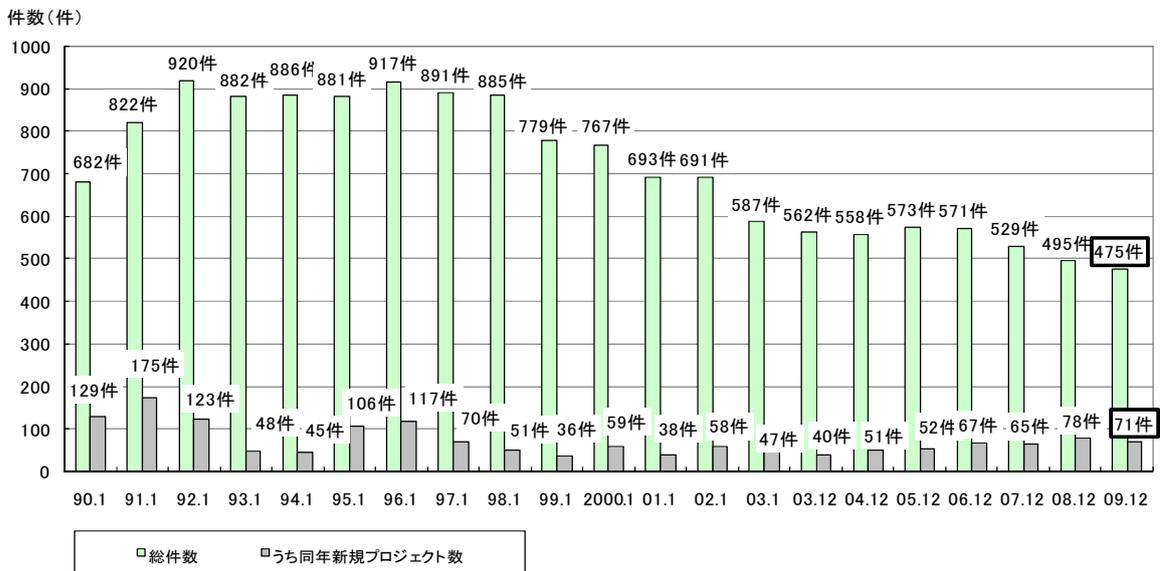
(財) 関西社会経済研究所(会長:下妻 博、所長:本間正明)では1989年より21年間毎年、産業活性化推進への基礎資料として、関西で進行中のプロジェクトの件数・事業費等を整理する「関西のプロジェクト動向調査」(注)を実施しております。

この度、文献調査とアンケート調査をもとに、2009年(2009年1～12月)における関西(2府5県)のプロジェクトの実態を調査し、結果をとりまとめました。

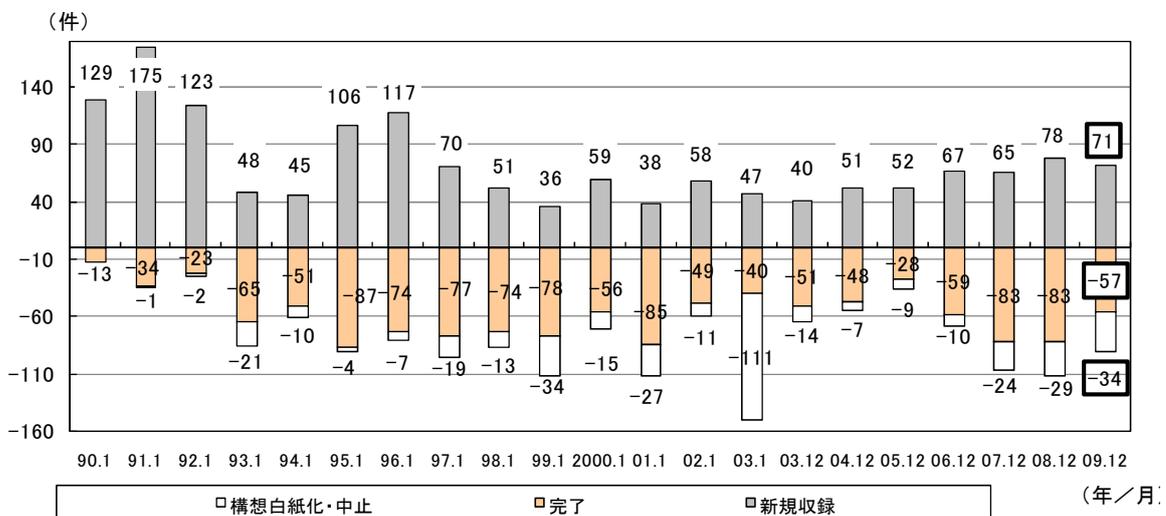
1. プロジェクト件数の推移

・2009年12月末時点のプロジェクトの件数は475件であった。
新規収録は71件、完了57件、構想白紙化・中止34件で、前年よりトータルで20件の減少となり、1996年1月の917件をピークに減少を続けている(図表1、2)。

図表1 プロジェクト件数の推移



図表2 プロジェクト件数増減の内訳



(注) プロジェクトの抽出基準: 総事業費が判明している場合10億円以上のプロジェクト(事業概要から10億円超の規模が予想される場合も含む)、また事業費が不明の場合は、開発面積が1ha以上のプロジェクト。ただし、国際的なイベントや博覧会などは含めない。

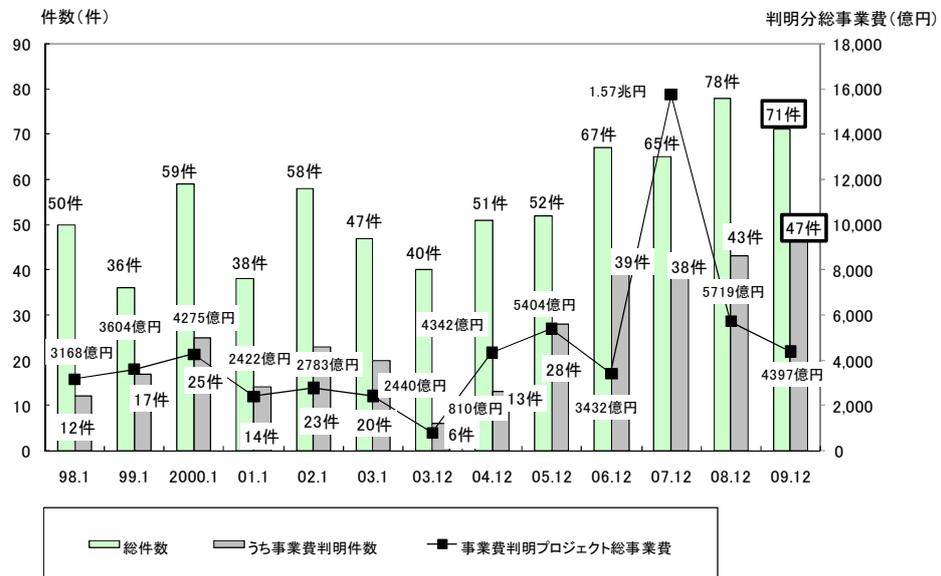
2. 新規プロジェクトの件数、事業費の推移

2009年の新規プロジェクトは71件となっており、2008年をやや下回った。(図表3, 4) うち、事業費判明件数は47件、総事業費は4,397億円、平均事業費は94億円で、平均事業費は低い水準となったが、総事業費では、1998年1月以降で4番目の額となった。

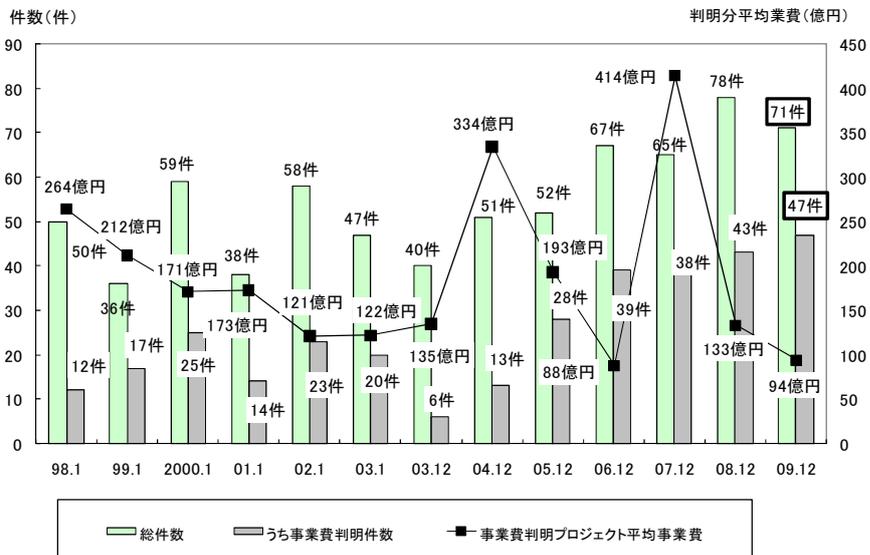
2009年新規プロジェクトの件数と判明分の総事業費は、2008年後半からの景気後退の局面にある中でも、落ち込みは少ない結果となった。また、事業費判明分の平均事業費では、超大型(500億円超)のプロジェクトが1件と少なく、例年より低い状況となった。

2008年迄の薄型テレビ関連の設備投資に代わり、2009年はリチウムイオン電池関連と太陽電池関連の設備投資にシフトし、関西のプロジェクトを支える形となった。今後さらに、新エネルギー関連向けの素材供給メーカーの設備投資が期待される。

図表3 新規プロジェクトの件数・総事業費



図表4 新規プロジェクトの件数・平均事業費



3. 2009年の新規プロジェクトの動向

- ① 工場や物流倉庫への企業の設備投資関連の件数が減少。 (図表5)

景気の後退局面で、工場や物流関連のプロジェクトの件数が、2008年より大きく減少した(38件から22件)。また、鉄道や道路関連のプロジェクト件数が、0件と低調だった。

- ② 健康施設・スポーツ文化施設、学校施設の件数が増加。 (図表5)

既存施設老朽化・狭隘化に伴う建替えや、国体誘致(和歌山)に伴う施設建設が大半を占める中、「京都水族館整備構想」や、「兵庫県立ものづくり大学校整備」の特徴的な新規プロジェクトがあった。

- ③ 大阪府下の新規プロジェクトの件数が減少。 (図表6)

大阪府下の新規プロジェクト件数は、2007年・2008年連続して30件前後で推移したが、2009年は19件と2006年以前の水準に終息した。一方、福井県、京都府、和歌山県でプロジェクトの件数が増加傾向であった。

図表5 各年新規プロジェクトの種類別件数及びシェア(2004年～2009年)

	2004年		2005年		2006年		2007年		2008年		2009年	
	件数	シェア(%)										
工場	5	9.8	9	17.3	16	23.9	21	32.3	32	40.5	18	25.4
物流施設・倉庫	4	7.8	8	15.4	12	17.9	7	10.8	6	7.6	4	5.6
事業所	1	2.0	1	1.9	2	3.0	6	9.2	8	10.1	8	11.3
研究開発施設	1	2.0	4	7.7	2	3.0	1	1.5	1	1.3	7	9.9
鉄道・道路施設	4	7.8	0	0.0	8	11.9	5	7.7	3	3.8	0	0.0
商業施設・レジャー	15	29.4	13	25.0	11	16.4	12	18.5	7	8.9	7	9.9
学校施設	3	5.9	9	17.3	3	4.5	3	4.6	2	2.5	6	8.5
住宅整備開発	8	15.7	3	5.8	2	3.0	1	1.5	4	5.1	2	2.8
スポーツ・健康施設・文化 他	10	19.6	5	9.6	11	16.4	9	13.8	16	20.3	19	26.8
合計	51	100	52	100	67	100	65	100	79	100	71	100

図表6 各年新規プロジェクトの府県別件数及びシェア(2004年～2009年)

	2004年		2005年		2006年		2007年		2008年		2009年	
	件数	シェア(%)										
福井県	4	7.8	1	1.9	3	4.5	2	3.1	1	1.3	5	7.0
滋賀県	7	13.7	2	3.8	9	13.4	7	10.8	9	11.5	6	8.5
京都府	3	5.9	6	11.5	5	7.5	4	6.2	8	10.3	11	15.5
大阪府	21	41.2	20	38.5	19	28.4	29	44.6	32	41.0	19	26.8
兵庫県	13	25.5	22	42.3	26	38.8	20	30.8	22	28.2	19	26.8
奈良県	2	3.9	0	0.0	3	4.5	2	3.1	2	2.6	2	2.8
和歌山県	1	2.0	1	1.9	2	3.0	1	1.5	4	5.1	9	12.7
共通域	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	51	100	52	100	67	100	65	100	78	100	71	100

4. 2009年の特徴

①超大型プロジェクト(500億円超)の新規件数が1件と低調

(2007年は事業費判明件数で6件、2008年は事業費判明件数で2件)

【該当】〈和歌山〉 住友金属工業・新第2高炉計画 1,150億 (図表7)

図表7 大型投資が相次ぐ住友金属和歌山製鉄所



(2013年完成予定の新第2高炉と同デザインの新第1高炉) (写真提供)住友金属工業㈱

②リチウムイオン電池と太陽電池関連の設備投資が活発

【事例】	〈滋 賀〉	リチウムエナジー・ジャパン電気自動車(EV)用電池新工場	325億
	〈京 都〉	ブルーエナジー・リチウムイオン電池新工場	250億
	〈兵 庫〉	三洋電機・次世代ハイブリッド車用リチウムイオン電池新工場	130億
	〈大 阪〉	三洋電機HIT太陽電池セル・二色の浜工場新棟建設	130億
	〈兵 庫〉	カネカソーラーテック・本社工場拡張	100億
	〈滋 賀〉	三洋電機・太陽電池パネル組立新棟建設(滋賀工場)	42億
	〈兵 庫〉	フジプレアム・住宅用太陽電池パネル新工場	30億

③研究開発施設建設が活発。(神戸医療産業都市構想エリアへの集積が進む)

【事例】〈京 都〉	アークレイ「新サイエンスパーク」建設	未定
〈大 阪〉	塩野義製薬「医薬品総合研究棟」建設計画	150億
〈大 阪〉	大阪大学「ナノテクインキュベーション棟」建設	60億
〈兵 庫〉	アスピオファーマ・新本社・研究所新設	未定
〈兵 庫〉	国際医療機器開発センター計画	22億
〈兵 庫〉	神戸大学・統合研究拠点施設	20億
〈兵 庫〉	「(仮称)神戸ハイブリッドビジネスセンター」整備	16億

④各府県での医療関連の整備計画が目立つ (図表8)

【事例】〈福 井〉	「公立丹南病院」再整備計画	60億
〈滋 賀〉	「公立甲賀病院」移転整備事業	90億 他1件
〈京 都〉	京都府立医科大学外来診療棟等整備事業	82億 他1件
〈大 阪〉	新関西電力病院の建設計画	未定 他1件
〈兵 庫〉	兵庫医科大学篠山病院建て替え	35億 他3件
〈奈 良〉	「(仮称)生駒市立病院」整備事業	80億 他1件
〈和歌山〉	「串本町立病院」建設計画	41億

図表8 新規プロジェクトの府県別件数×種類別件数 (2009年)

	福井県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	合計
工場		2	3	3	6		4	18
物流施設・倉庫				3	1			4
事業所	1	2		2	2		1	8
研究開発施設			1	2	4			7
鉄道・道路施設								0
商業施設・レジヤ			2	4			1	7
学校施設	2		1	2	1			6
住宅整備開発				1	1			2
スポーツ・健康施設・文化 他	2	2	4	2	4	2	3	19
合計	5	6	11	19	19	2	9	71

(問い合わせ先)

KISER 財団法人 関西社会経済研究所
Kansai Institute for Social and Economic Research

TEL:06-6441-0550 FAX:06-6441-5760

E-mail:Kiser@kiser.or.jp

担当者:井上 大野